

## 【構想の概要】

本事業を通して、本学の教育理念の一つである「国際主義」の更なる現代的実質化を図り、global issuesの解明・解決に貢献する国際的教育研究拠点へと発展させることを目指す。具体的には、英語のみで学位が取得できるコースを開設する等、ソフト・ハード両面での大学のグローバル化を推し進める。

## ■ 留学生受入れ体制の充実

### ○ 授業料減免奨学金

全留学生に対し奨学金を給付。授業料の減免率は学部20～50%、大学院が30～100%。

### ○ アドバイザー、チューターによる支援

「生活支援アドバイザー制度」「学習・研究支援チューター制度」により、留学生が抱える個々の学習・生活両面での問題・悩みへの対応および修士論文作成時のサポートを行う。

### ○ グローバルな環境整備

学内表示の多言語化の他、学生食堂においてはハラル食を提供、また学内にメディテーションルーム等を整備し、多様な文化圏からの留学生の生活環境を向上させた。またソフト面においても、「World Café」等、複数の国際交流イベントを新しく企画し、留学生と日本人学生の交流を促進している。

### ○ 英語カウンセリング

平成23年度より今出川キャンパスにおいて英語によるカウンセリングを開始し、平成24年度には京田辺キャンパスにも拡張し留学生の精神的な支援にあたっている。

### ○ 宿舎／留学生住宅総合補償制度

平成24年度末現在502室(699名収容)の宿舎を確保し、本事業当初と比較し5倍強となった。また、平成23年度に導入した「留学生住宅総合補償制度」は平成24年度にも約100名の留学生が利用し順調に稼働している。

### ○ 就職支援

「ビジネス日本語」等の各種講座・セミナーを継続して実施するとともに、平成24年度には留学生を積極採用する企業を招聘し「企業研究セミナー」を開催。また、卒業前の留学生を対象に就職に対する意識調査を実施し、今後の「ニーズに沿った就職支援」に向けて分析を行い報告書を作成した。

## ■ 海外に向けたリクルーティング・広報活動

### ○ 海外事務所開設／留学フェア開催

既存の3拠点6事務所に加え、平成24年度トルコ(イスタンブール)に事務所を開設。また同年度内にイスタンブールにおいてG30日本留学フェアを主催し、約230名の現地参加者を得た。

### ○ リクルーティング／広報活動

継続的に各種留学フェアに参加する他、平成24年度は英語コース教職員による「Japan Day」をオーストラリア・UAE・イギリスにて開催。また、新たにFacebookを開設し国内外に情報発信を行っている。

## ■ 国内外の教育機関との連携

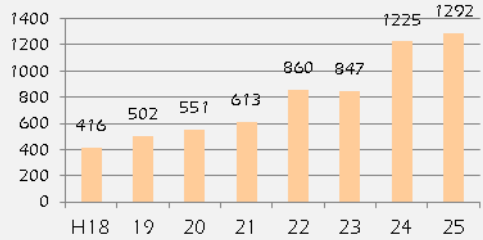
### ○ SDワークショップ等の開催

平成24年11月SDワークショップ「大学職員のグローバル化」、平成25年1月国際シンポジウム「国際化時代の日本語研究と日本語教育」を開催し、国内外の大学関係者での情報共有を図った。

### ○ 海外大学との連携促進

平成24年度には新たに3か国10大学と大学間協定を締結し、年度末時点で合計39か国167大学となった。

(名) 留学生数\*の推移



\*留学生数には、本学の外国人留学生定義による留学生、グローバルMBAコースに在籍する留学生、一般入試を経て入学した留学生を含む。



▲ 授業風景(ラーニング・commons内)



▲ 日本留学フェア(トルコ)の様子(於:旧日本総領事館)

ILAでのグループ学習を通して、色々な国から来ている学生との相互理解を深めています。それぞれの国の知識や経験を持ち寄ることで、日本に対する理解が広がるのではないかと思います。また、私達を隔てる要因よりも、人間の「1つの家族」としての繋がりの方が勝るのだと実感しています。授業では、時にはフィールドワークで教室の外に飛び出し、緑豊かな古都を満喫しています。

国際教育インスティテュート学生(ウガンダ出身)



## ■ 英語コースの開講

### ○ 学部

[H23.4-] 国際教育インスティテュート<ILA>

### ○ 大学院

[H21.9-] グローバルMBAコース(ビジネス研究科)

[H22.4-] グローバル・スタディーズ研究科

[H22.9-] 国際科学技術コース<ISTC>

(理工学研究科・生命医科学研究科)